

平成二十三年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法文学部 総合社会システム学科

推薦入試Ⅱ（昼間主コース・夜間主コース）

社会人特別入試（夜間主コース）

注意事項

- 一、 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、 解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、 解答時間は、一二〇分である。
- 五、 縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の三つの文章を読み、「最低賃金の引き上げは、有効な貧困対策となりうるか」について、自分の意見を述べなさい。
解答は、八〇〇字以上、一二〇〇字以内でまとめなさい。

文章① 「最低賃金——引き上げを出発点に」

非公開

非公開

文章② 「最低賃金上げは慎重を期せ」

非公開

(朝日新聞 社説 二〇一〇年八月七日、抜粋)

非公開

文章③ 「最低賃金引き上げは所得格差を縮小するか？」

非公開

(大竹文雄、『競争と公平感』、中公新書、二〇一〇年、一九三～一九五頁、抜粋)

(日本経済新聞 社説 二〇一〇年八月六日、抜粋)

平成二十三年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法文学部 総合社会システム学科

推薦入試Ⅱ（昼間主コース・夜間主コース）

社会人特別入試（夜間主コース）

出題の意図

最低賃金の引き上げをめぐる多様な意見を読み、最低賃金の引き上げが貧困対策として有効であるかについて、自分の考えを展開してもらう。社会的関心の高さとともに、論理的思考力と社会科学についての素養を問うものとなっている。